

報道関係各位



産業用ソーラーシステム提案支援サービス「ソーラーマスター」

自家消費太陽光発電での余剰売電・PPA 向け提案書を追加

エナジー・ソリューションズ株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長:森上寿生)は、産業用ソーラーシステム提案支援サービス「ソーラーマスター」に太陽光発電を自家消費で設置する際の余剰売電・PPA 向け提案書を追加し、12月17日よりサービスを開始します。

2020年度から10kW以上50kW未満の太陽光発電は、固定価格買取制度の変更により全量売電から余剰電力での買取となりました。また、RE100(Renewable Energy 100%)に国内外大手企業の加盟が拡大し、第三者保有モデルのPPAを利用した自家消費太陽光発電を設置する企業が増加しています。

そのため、「ソーラーマスター」に余剰電力買取がある場合の提案書と、PPA事業者が自家消費太陽光の供給電力量を課金する場合の提案書が作成できる機能を追加いたしました。

提供価格は今までの価格を据置き、初期登録費用:2万円、月額ライセンス費用(2ライセンス):3万円となります。(現行契約の方はそのまま追加提案書を活用できます。)

「ソーラーマスター」は、2011年1月にサービスを開始し、国内外殆どのPV・PCSメーカーに対応した発電シミュレーションを行うことができます。

これまでに、全量売電対応提案書作成、通常の自家消費太陽光提案書、逆潮流量算出シミュレーション、逆潮流防止の際のPV・PCS出力最適化シミュレーションに対応してきました。

この度追加された提案書内容は下記の通りです。

1、自家消費太陽光発電における余剰売電を含んだ提案書

- 1) 太陽光発電シミュレーションによる供給電力量を自家消費に使用する電力量と売電電力量の割合を設定し、購入電力量削減分と売電分による、電気料金の削減額を計算します。
- 2) 初期設置費用とO&M等のランニングコストを含めて設備効果を提示します。
- 3) 太陽光発電自家消費分から、CO2排出削減量や環境価値を提示します。



